

平成 17 年 3 月 7 日

HPV 遺伝子のタイピング解析受託を開始

株式会社ジェネティックラボ
代表取締役社長 堀川 武晴

株式会社ジェネティックラボ（本社：札幌市中央区、代表取締役社長：堀川 武晴、以下 ジェネティックラボ）は、ヒト乳頭腫ウイルス（Human Papilloma Virus：HPV）の型判定（タイピング）が迅速且つ簡便に行える遺伝子解析法の独自開発に成功し、各医療機関などからの研究解析受託を開始いたしました。

HPVは、皮膚、口腔内、性器などに発生する隆起性病変（いわゆるイボ）の原因とされているごくありふれたウイルスで、およそ100種類の型（タイプ）が存在すると報告されており、その中の特定のタイプが子宮頸部がんの発生に関連していることが知られております。子宮頸部がんは早期治療で100%治癒が可能ですので、最近はがんの発生に関連しているこのHPV特定タイプを検出して、がん検診の精度向上に役立てようとする動きも出ております。

ジェネティックラボが開発したHPV遺伝子のタイピング解析技術は、この子宮頸部がんに関連するとされる特定タイプを含めた16種類のHPVタイプが一度の解析で判別できる方法で、HPVと子宮頸部がんとの関連についての基礎的研究、疫学的研究に有用性が高いものと考えます。

以上